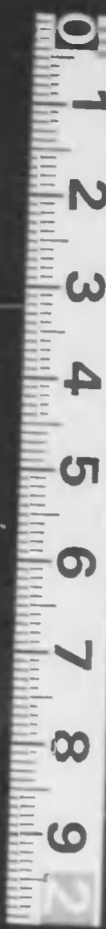


週寫  
報眞

情 報 局 編 輯  
八 月 廿 五 日 第 二 百 八 十 六 號

進む  
東亞の大建設



眞に自分達の敵はどこのごいつなのだ  
これを悟つたとき

ビルマは敢然と起ち米英に戦を宣した

わが真意に應へて

比島もまた戦にはせ參じ

獨立の巨歩をふみ出すであらう

集結された南方一切の民心と資源  
こゝに大東亞建設の現實の姿がある

敵アメリカの焦燥の聲をきけ

「一分一秒後れよばおくれる程いよく」

日本の不敗態勢は固められるであらう」と

「時の立札」は他へ時敵その他に御利用下さい



太陽の中に孔雀があるといふ傳説がビルマにある。その孔雀を中心に、上は竹槍を意味する黄色、中は農民を示す緑、下は血と涙を意味する赤の三色が飾つてゐる。ビルマ國旗

# ビルマ國敵前獨立の日

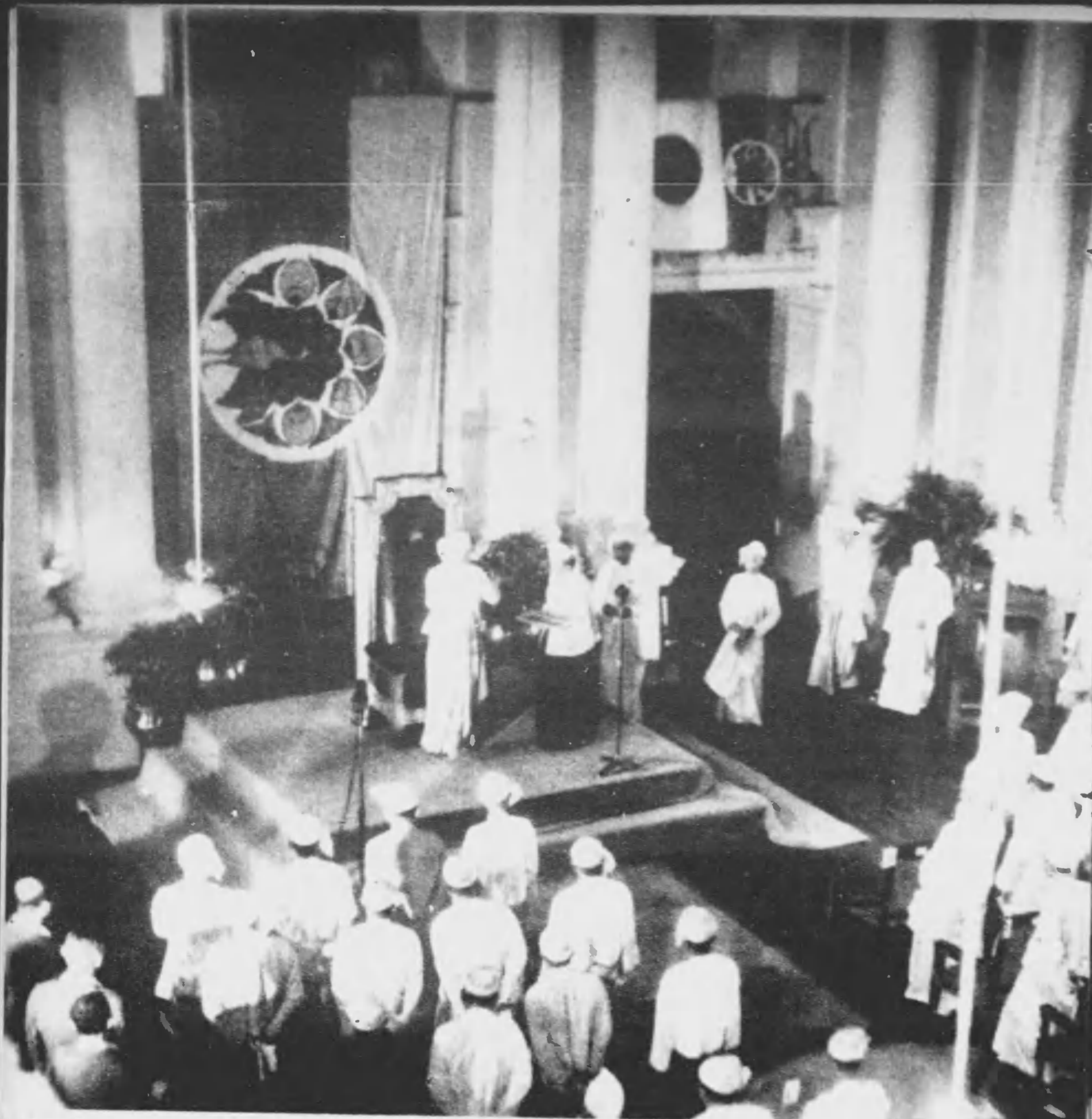
八月一日、輝かしい獨立宣言と同時に米英に對して宣戦を布告、わが國と同盟を結んだ新國家ビルマは、目の前に敵を控へてゐるだけに、獨立の欣びの中にも緊張の色は濃い。パー・モウ國家代表もまた、日本國民に對する感謝放送の中で、「我々にとつて戦争は何よりも重要事である。敵を完全に屈服させるまでは我々のこの獨立を徹へて敵撃滅の武器とするであらう」と、述べてゐる。敵を前にして生れたビルマ國は、正に文字通り戦ひつゝ建設へ暴進してゐるわけである。

パー・モウ國家代表を指導者とし「二民族・一輿論・一命令」を合言葉に、共同の敵撃滅へ進撃する新生ビルマ國へ心からの支援と激勵の言葉を贈らうではないか  
控れの獨立成る。半生を獨立に献じたパー・モウ國家代表は更に米英を撃たすはまじきことを望む。ビルマ國代表の推戴式直後

東亞の同志國家、大日本帝國とビルマ國が今そがつちり手を取つた。日緬同盟條約の調印式 向つて左、浮田大使 右、パー・モウ國家代表



日ノ立独前敵國マルビ



⇒ 畏くも二重橋から参内申しあげた日を思ひ奉りつゝ、議するは議政の第一歩「初閣議」



⇒ 乾盃に見交はす時は、たゞ感激に輝く「独立祝賀宴」。右からチャンドラボイス氏、澤田大使後向、ベール・モウ国家代表、二人おいて河邊最高指揮官



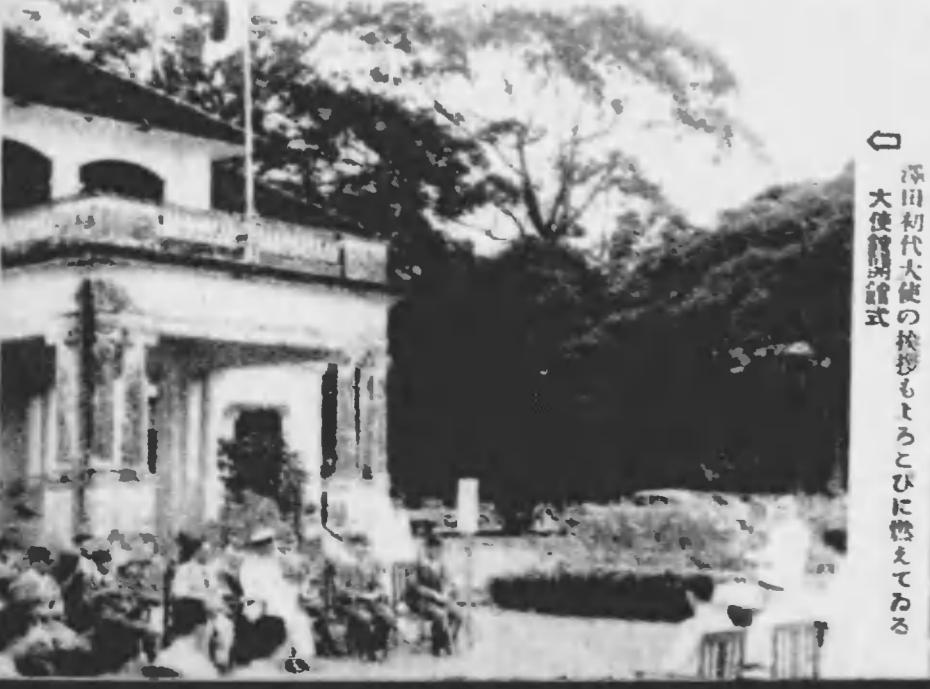
⇒ 八百万ビルマ女性の献身があればこそ男子は後顧の憂ひなく國事に奔走出来るのだ、と獅子吼するベール・モウ国家代表「ビルマ愛國婦人會初總會」



⇒ 全員起立のうちに、ベール・モウ国家代表は、聖國の精神に則り國忠によつてビルマを指導せんと厳かに誓ふ「國家代表宣誓式」



⇒ ラングーン市は獨立の歌びにあふれた。獨立記念切手、建國記念債券の發行等、祝賀行事に全市が沸き上つた



⇒ 澤田初代大使の挨拶もよるとびに燃えてゐる「大使謁見儀式」

# 祖國獨立のための戦いは人々の走起つ

## ボルネオのインド人



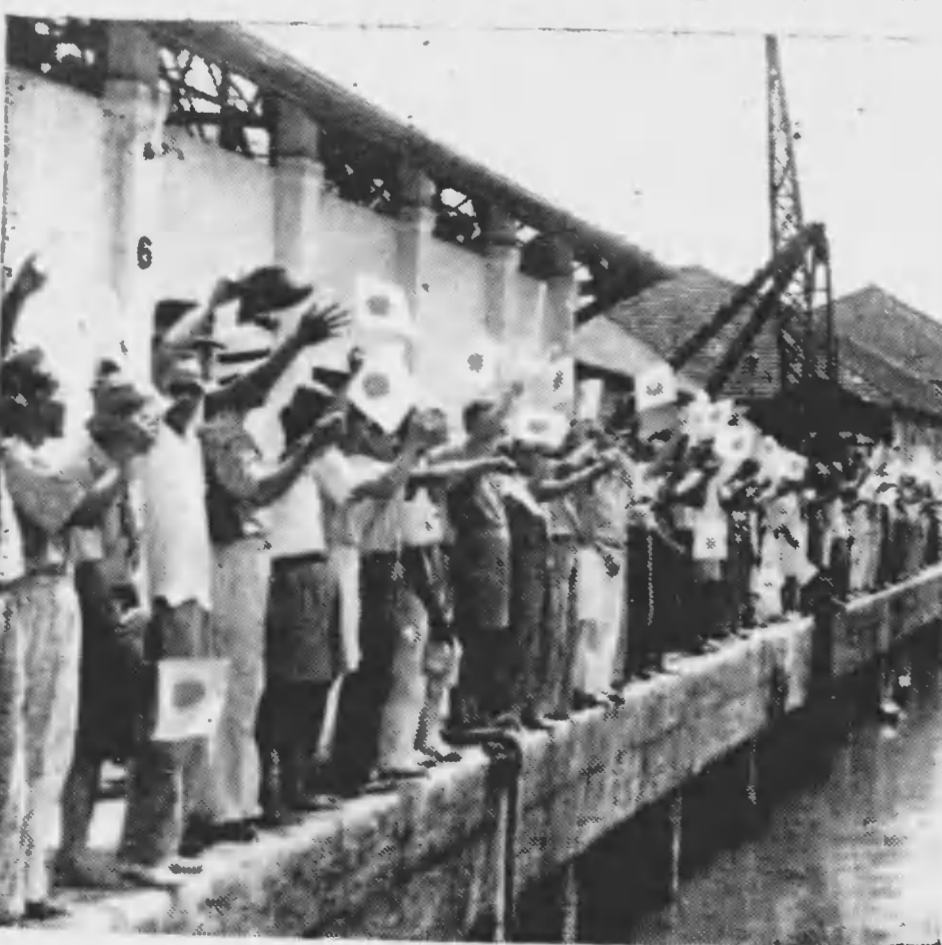
「祖國をとりかへせ」といふ叫びが、ボルネオにもあがる。日本と共に見望する。早く東洋に輝かせよ。

これも東洋の盟主日本の支援があればこそ、最高指揮官に心からの感謝を述べよ。

「元気で待つてくるぞ」見送る妻と再び逢ふ日は、懐かしい祖國が獨立の日だ。

「ビルマは獨立したぞ」さきに、スバス・チャンドラ・ボース氏を東洋に迎へ、いままた隣邦の誕生を目のあたりに見た東洋各地在住インド人の心は、いよいよインド獨立へ燃え上つてをり、現に、上海、廣東、昭南、バンコク、マニラ、ラングーン等各地のインド獨立聯盟支部からインド國民軍へと續々と馳せ参じてゐる。

こゝボルネオにおいても、かうした機運は日と共に昇りつゝあり、日本の力を信じ、日本に協力しつゝ、祖國の獨立に向つて米英と戦ふことを誓つてゐるが、このほど、〇〇名の在ボルネオ、クチンのインド人はインド國民軍に参加すべく、堅い決意と共に勇躍〇〇に向つたのであつた。



しかと握手を握つて、最後の挨拶を交はす。につこり笑つた船は深い自信と決意を思はせる。





「アジアアフリカ」は、皇軍がこのマラヤに進軍直後、海軍がつた航空に毎日地球が吊下けてゐた言説でした。それが今では現地人に呑みこめて来ましたが、つまり人間なみの扱ひを、なかつた英國のやり方と違つて、現地のためを考へて行ふ皇軍の温かい情に、現地人はすつかり心をうたれたのです。

「東洋は一つだ」と信じた現地人は、進んで皇軍の〇〇教導部隊に協力したいと申出ました。そしてカンノと照りつける日中、一生懸命でお手傳ひをしてゐます。

皆さんが大人になつたときは、この人たちの兄さんとしてアジア

現地人は

喜んで建設に

協力してゐます

南方〇〇基地における現地人の暮仕

「アジアアフリカ」は、皇軍がこのマラヤに進軍直後、海軍がつた航空に毎日地球が吊下けてゐた言説でした。それが今では現地人に呑みこめて来ましたが、つまり人間なみの扱ひを、なかつた英國のやり方と違つて、現地のためを考へて行ふ皇軍の温かい情に、現地人はすつかり心をうたれたのです。

「東洋は一つだ」と信じた現地人は、進んで皇軍の〇〇教導部隊に協力したいと申出ました。そしてカンノと照りつける日中、一生懸命でお手傳ひをしてゐます。

皆さんが大人になつたときは、この人たちの兄さんとしてアジア



を教へ導いてゆくのですから、しつかり勉強して立派な日本人になつて下さい。頼みますよ。ではまた

撮影 木下 影

兵隊さんに慰問文を送りませう

「パンサイ」  
今日で仕事はすみました。またまた元氣なみんなを見て下さい。

これはなんだと思ひますか。トロワの代用中ですか。器用な兵隊さんの發明です。

引け  
と大きな木が根こそぎ倒れました。またもや、ここに森が倒れ、野原になりました。





# 上海共同租界返還なる

ビルマ國が輝かしく誕生した同日の八月一日、上海の共同租界返還が中國全民族感激のうちに、東亞解放史に輝たる一頁を加へたのであつた。

今年一月九日、國民政府の對米英宣戰布告と同時に、日華兩國間には戰爭遂行についての協力を期する共同宣言が行はれ、また租界還付及び治外法權撤廢などに關する協定が調印された。この協定は一つ／＼實行に移され、租界還付についても、この日行はれた上海共同租界の回取をもつて全租界の還付を完了することになつた。まことに中國百年の屈辱史に終止符を打つたものであつて、中國の自主權回復のために、わが東亞の大建設具現のために輝かしい前進であり、この機會に日華相携へて共同の敵撃波に突進する決意を新たにしたい。

撮影 上海陸軍部報道部



共同の敵と戦はん—そのスローガンを前に新上海を守る(右から)市政府警長、帝威海軍陸軍部議員、中國保安議員、中國陸軍部議員

上海共同租界返還式において租界移讓の公文及び目録を陳市長に交付せんとする岡崎市長

共同租界はどうして出来たか、米英は我々をどんな面目にあはしたか、我々の眞の味方は、敵は—喜びの日に紙芝居は活躍する



# 征野白雲



比島軍艦隊 勅使川原重堂  
 天下下巨砲轟かに向き轉へて  
 椰子樹々飛煙の基地を突つ  
 鳥の背に椰子の合衆の花揺れ進む  
 青嵐軍刀で地固押へけり  
 青嵐軍刀の枝のとび散りぬ  
 軍衣青く染めし軍旗や敵まが  
 日盛に散々と停機動けり  
 東條首相五月五日比島軍艦  
 天竺にて首相水島端午の日  
 五日五日山本元帥の戦死を  
 ラジオに聴く

泰の葉の月におをよとし討行  
 中支軍艦 大江 義夫  
 カンナ機砲戦女の悲報きく候  
 パン積みて伏せよこの地は下崩れぬ  
 月照る一途の心波河いそぐ  
 北支軍艦 阪上 隆夫  
 青嵐軍刀で地固押へけり  
 青嵐軍刀の枝のとび散りぬ  
 軍衣青く染めし軍旗や敵まが  
 日盛に散々と停機動けり  
 中支軍艦 石井 健一  
 上色の水脈はくかなた月のぼる  
 瀬江よる發射艇や岸の青  
 和田 重雄  
 明日の下日向榮はたじろがず  
 前野若葉となりぬ病なほ  
 利平區に釣する兵や蟬の聲  
 江岸の機砲ゆれて牛のどか  
 比島軍艦 佐久間千代吉  
 敵機砲つソロン海の藍深く  
 かつくと軍靴響きを深くしぬ  
 山本元帥陣歿の日に  
 椰子の下祖國の空に黙想す  
 大塚 光一  
 響わけて刈る草にまじり女郎花  
 北支軍艦 笠原 三三男  
 月涼し髪間袋のハローモカ吹く  
 比島軍艦 櫻井 真雄  
 満月を戦友と語りぬドラム風呂  
 高野軍艦 井上喜久美  
 明日知らぬ身や山まひの木の芽宿  
 比島軍艦 長岡日出雄  
 父母思ふ心切なり虫なけり

## 詩

### 稲穂

南方軍艦 足立 利夫

今日妹からの便りにはいってゐた  
 稲の一穂に  
 昔の日本の秋を  
 胸いっぱい味はった  
 砲聲に荒れ太耳に  
 秋晴れの下  
 裏山の川に  
 サクサクと鳴る  
 利録の美しい音がする  
 父母の米を一粒かんで  
 たまらぬ満足を感じた  
 あゝ村は明るい  
 あゝ人は美しい  
 あゝはきはしい  
 あゝはきはしいかな

### 花に想ふ

中支軍艦 森田 勝

ふたゝびももしれぬ花が咲いた  
 のの時  
 この白の花が頂上に群り咲いてゐた  
 そしてこの香りの高い花を  
 青草と一緒に挿んで  
 一這ひ一這ひ  
 あり〜敵陣に肉薄して行つた  
 突如 天皇陛下萬歳と  
 伸び上るキウにして叫んだ手には  
 これだ  
 この白の花が銃と共に握られてゐた  
 夏はほどこまでもよく  
 薫風が白い花の群をわたつて  
 風にそよよと真黒い頬を吹く

## 俳句

比島軍艦 勅使川原重堂  
 天下下巨砲轟かに向き轉へて  
 椰子樹々飛煙の基地を突つ  
 鳥の背に椰子の合衆の花揺れ進む  
 青嵐軍刀で地固押へけり  
 青嵐軍刀の枝のとび散りぬ  
 軍衣青く染めし軍旗や敵まが  
 日盛に散々と停機動けり  
 東條首相五月五日比島軍艦  
 天竺にて首相水島端午の日  
 五日五日山本元帥の戦死を  
 ラジオに聴く

比島軍艦 佐久間千代吉  
 敵機砲つソロン海の藍深く  
 かつくと軍靴響きを深くしぬ  
 山本元帥陣歿の日に  
 椰子の下祖國の空に黙想す  
 大塚 光一  
 響わけて刈る草にまじり女郎花  
 北支軍艦 笠原 三三男  
 月涼し髪間袋のハローモカ吹く  
 比島軍艦 櫻井 真雄  
 満月を戦友と語りぬドラム風呂  
 高野軍艦 井上喜久美  
 明日知らぬ身や山まひの木の芽宿  
 比島軍艦 長岡日出雄  
 父母思ふ心切なり虫なけり

比島軍艦 土橋宗七郎  
 乙女等の強く雄々しく立向ふ銃後の便りにほろもみて見  
 敵陣の怪話に交る故郷の訛りに和しつつかしきみけり  
 假名の有る母の便りを護るか支那の月夜に指さすあり  
 歌々と兵はゆくなり炎熱の道延々とほるかななるかも  
 願ふ心一つに蒼良男が撃ちて止まむ今日も明日も  
 兒等二人機師の御禮と証かしめて老いを樂しと父は申しぬ

比島軍艦 小堀重夫  
 難い。強くれ。あれ、變な面  
 て、オイたまごだよ。オヤ  
 いらつしやいませだけか、オイ  
 たまご、わかんないな、ほらオ  
 イ、コケココロ、何といつた  
 かな、サアいかん、エ、ま、  
 上、オイ  
 『いらつしやいませ』  
 『あれ日本語だね、こりや有  
 住民の日本語で愛嬌増し  
 コーだ』

中支軍艦 小坂清勇  
 動物も日本名に早變り  
 南方各地は〇通り、ムム山と日本名  
 に早變りして、新しい様相を呈しつ  
 つあります。それこそ、これが花子  
 と呼ぶオランウータンカマササギ  
 限りたネ

## 大東亞戦争日記

七月  
 二十八日 ●帝國海軍航空隊は  
 七月二十五、二十六日ブーゲンビル  
 島に襲撃せる敵機合計百五機を同島  
 上空に撃墜し、その二十七機を撃墜  
 し、また七月二十八日ブーゲンビ  
 ル島西側に襲撃せる敵機約七十機と  
 交戦、その五機を撃墜せり。右兩戰  
 闘において我が方は撃墜艦一隻沈  
 没、飛行機十二機を失へり  
 三十日 ●我が支那方面航空部  
 隊は引續き在支米空軍の各前進基地  
 を襲撃中にして、七月二十六日以降  
 二十七日までの計四回の如し、(一)  
 龍巖及建陽を連日襲撃し、飛行  
 機、停車場並びに附近軍事施設を爆  
 撃、これに大なる損害を與へたり  
 (二)挑戦される龍巖と交戦、その  
 十六機を撃墜せり。我が方の損害自  
 爆四機なり

八月  
 一日 ●帝國海軍航空隊は  
 八月一日三回にわたりレンドバ港所  
 在敵艦並びに附近の軍事施設を攻  
 撃し、左の戦果を得たり  
 一、撃沈 大型輸送船一隻、中型輸  
 送船四隻、小型輸送船六隻、驅逐  
 艦一隻、上陸用舟艇六隻以上  
 二、撃破 巡洋艦一隻、上陸用舟艇  
 一隻  
 三、撃墜 敵機九機  
 四、炎上 魚雷艇基地、棧橋及び港  
 外バウ島物資集積所  
 本攻撃において我が方の損害自爆二  
 機  
 四日 ●帝國海軍航空隊は  
 八月四日ムンダ上空において敵機約  
 機約七十機と交戦し、その二十五機  
 を撃墜せり。我が方の損害四機

六日 ●帝國海軍航空隊は  
 六日夜コロコラガ島の西方海面  
 において飛行機並びに魚雷艇と協同  
 せる敵水雷艦隊と交戦し、驅逐艦一  
 隻撃沈せり。右戦闘に於て我が方も  
 また驅逐艦一隻沈没、他の一隻大破  
 せり  
 ●帝國海軍航空隊は八月六日レ  
 ンドバ港を攻撃し、左の戦果を得たり  
 一、撃沈 中型輸送船二隻、小型輸送船  
 二隻、上陸用舟艇約八隻  
 二、撃破 中型輸送船一隻、海上トラッ  
 タ一隻  
 三、撃墜 敵機五機以上  
 右攻撃に際し、我が方未歸還機一機  
 十二日 ●八月十二日朝、米機機  
 コソリテラッドD4五機及びボ  
 イイングD4三機北千島に飛來せ  
 り。我が海軍航空隊は直ちにこれ  
 を襲撃し、その三機を撃墜せり。我  
 が方一機未歸還せり  
 ●帝國海軍航空隊は八月十二日  
 ブーゲンビル島アインに襲撃せる敵  
 機五十五機以上と交戦し、その三十  
 四機を撃墜せり。右空戦における我  
 が方の損害、未歸還機一機のはか地上  
 において若干の損害あり  
 十三日 ●帝國海軍航空隊は八  
 月十三日ルンガ方面攻撃及びレンド  
 バ方面敵機掃蕩を實施し、左の戦果  
 を得たり  
 一、ルンガ方面攻撃  
 攻撃機は夜間に所在の敵機掃蕩  
 艦隊を襲ひ、大型輸送船三隻を撃沈  
 すると共に、一部を以て飛行場を襲  
 ひ、その一箇所を焼却、一箇所を委  
 上せり  
 二、レンドバ方面敵機掃蕩  
 敵機隊はムンダ上空において敵機  
 機十機を撃墜し、その六機を撃墜せり

## 短歌

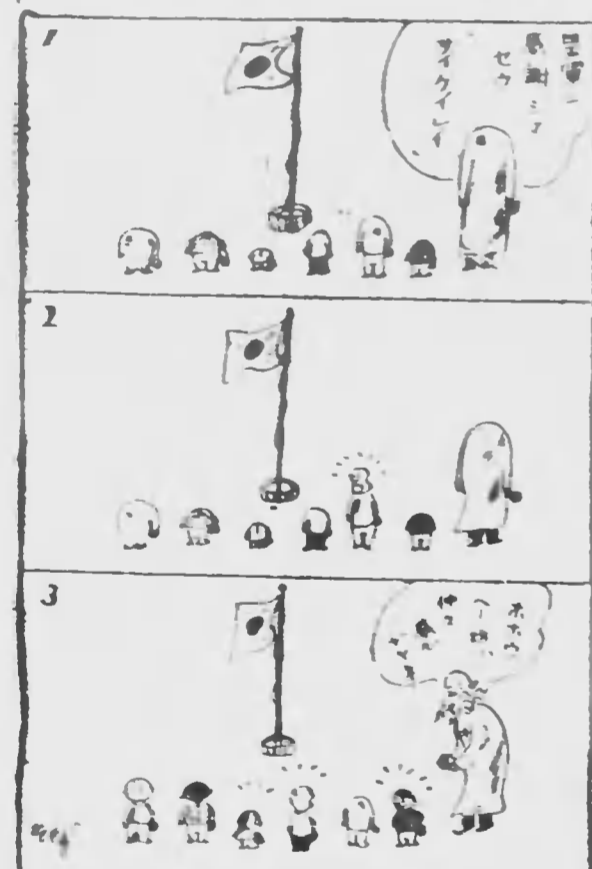
散らばる命いまだも保ちて大陸の入り目に眞向ひて居り  
 母その命日を戦友の誓りをりととらに砲のきこゆる中に  
 突撃路開設の跡崩れ落ちし瓦礫の上は夏草生ひぬ  
 にじり寄る力も盡きて城壁も見据えて果てし兵い人ぞ  
 萬葉の遠き御代よりつたへきてつらぬきよほるいのちみるべし  
 大君が親しく股肱と呼び給ふその血ぞまさにこの胸にあり  
 北支軍艦 高橋 武二  
 打振れる帽子に力込め乍ら成功祈れり整備隊員  
 銃後には心引かれず益良夫の務めはたせとみづくきの跡  
 中支軍艦 武内 潤道  
 子の汁は何時でも飲める。猿も非常に  
 これが好物である  
 中支軍艦 漢加 漢九

## 川柳

作業場へ歩調が揃ふ停機隊の歌  
 刺青があつて上役めいた停機  
 くつすとと眠る停機にも十字星  
 中支軍艦 足立 義夫  
 純情な便りに強者涙り泣き  
 軍事使戦友の元氣が文字に凝り  
 慰問書今日も笑ひを凝らし立つ  
 遠藤 武次郎  
 取つて来た猿と一緒の椰子を噛み  
 スマトラには椰子の實を巧みに採る猿  
 の一環がある。椰子をもぎ取つて下に  
 落す時、時を振つて合図をするから



動物も日本名に早變り  
 南方各地は〇通り、ムム山と日本名  
 に早變りして、新しい様相を呈しつ  
 つあります。それこそ、これが花子  
 と呼ぶオランウータンカマササギ  
 限りたネ

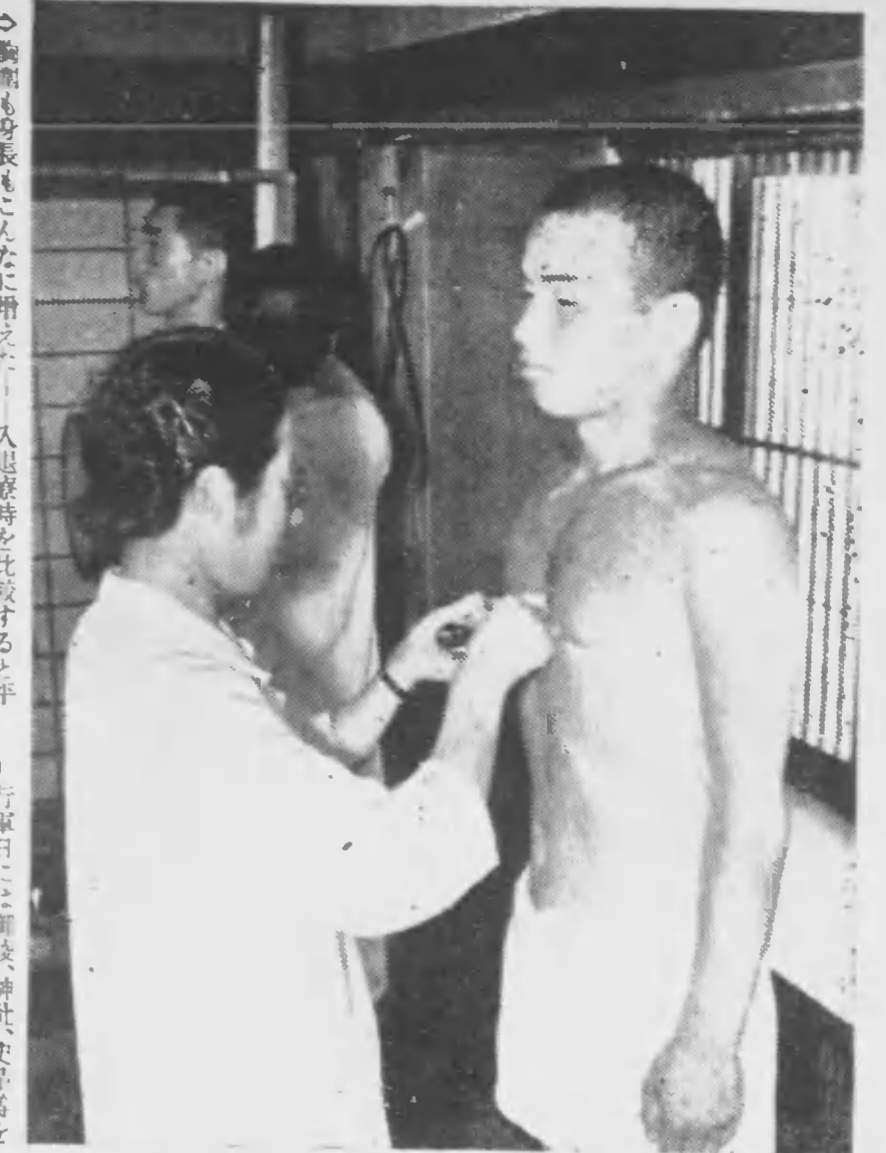


『エー、邪に怒か、オイ村村！  
 ちや實つてくるから飯の方頼む  
 ぞ。エー羽々々、何といつた  
 かな、サアいかん、エ、ま、  
 上、オイ』  
 『いらつしやいませ』  
 『あれ日本語だね、こりや有  
 住民の日本語で愛嬌増し  
 コーだ』

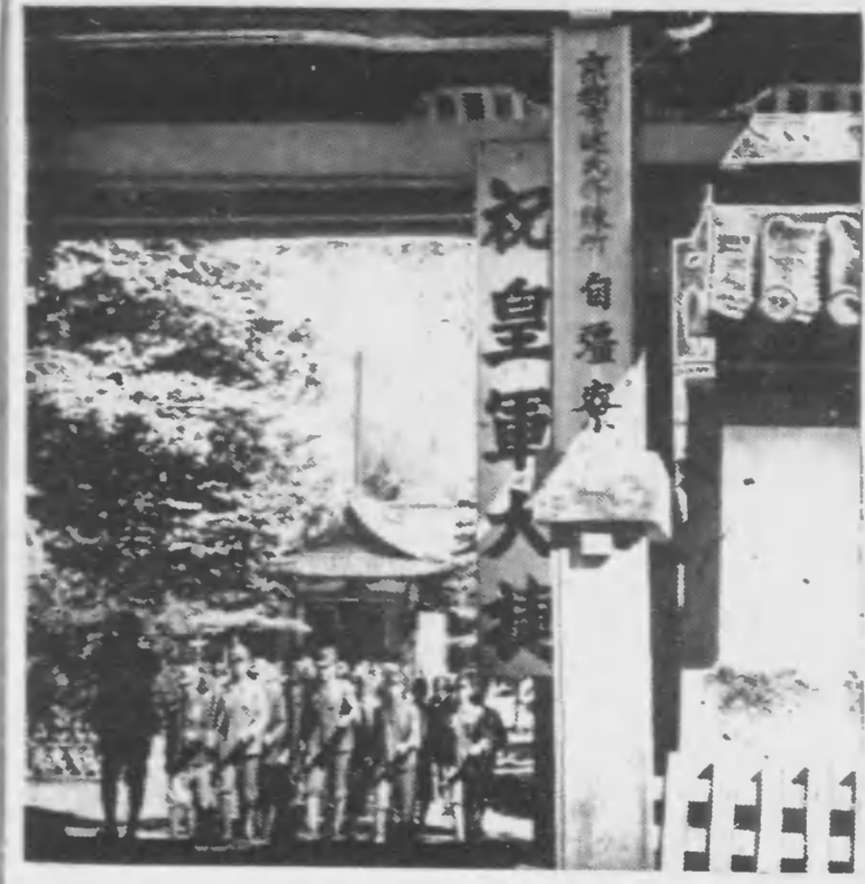
中支軍艦 小坂清勇

# もぢほっせ瘦 に体の格合種甲

る生所録修民健の百千に國全



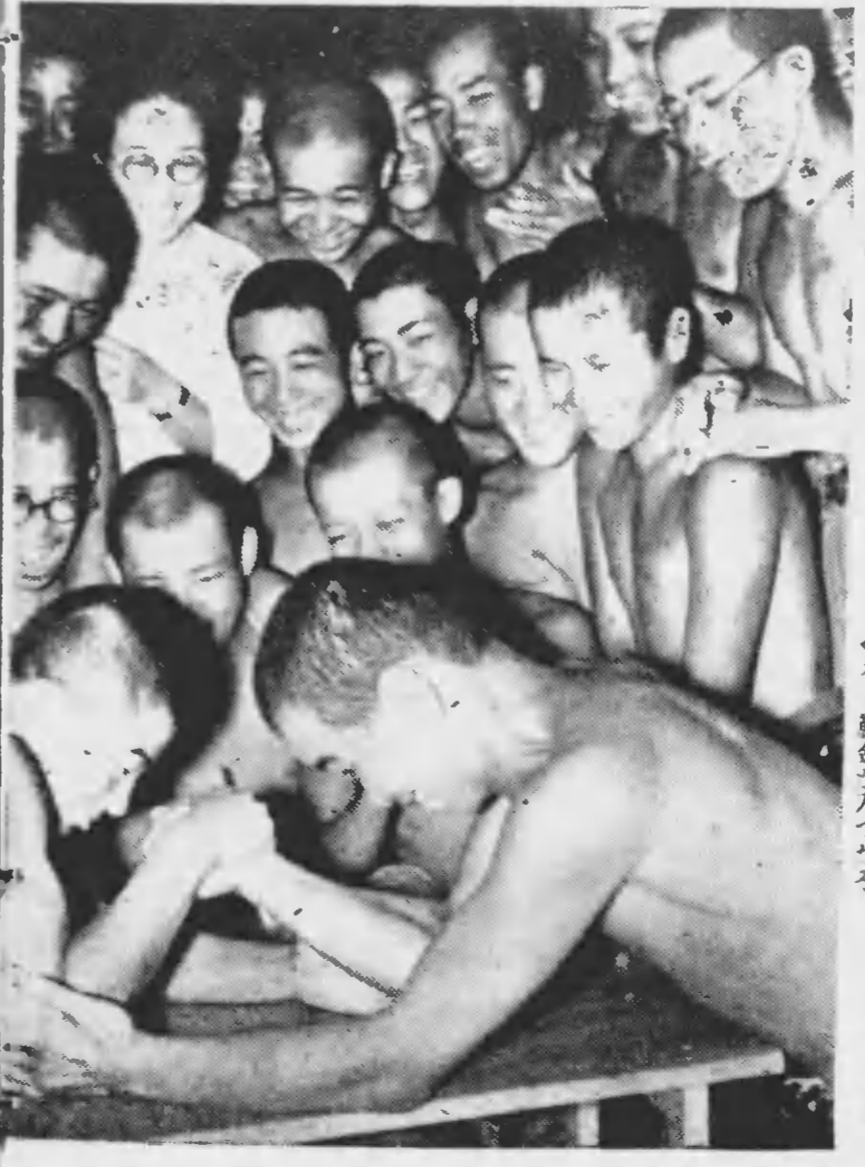
胸圍も身長もこゝろに増えた。入退寮時を比較すると平均寸は〇・四一センチ、胸圍は一・二〇センチも増えている。



行軍日には御校、神社、史跡等を巡りて精神陶冶もなされる。



戸外運動は訓練と勤勞作業と兼へられる。今日は新運びだ。



さき腕試しだ。一番こい——鍛へた腕な。さき、鉄金が入つた。

一億戦軍にある今日、國民のこゝろを鋼鐵のやうな體力の持主でありたいものです。さうあつてこそ、敵米英を最後の突撃によつて銃剣の下に突き伏せることもできようといふものです。だが残念なことには、年々結核で死亡するもの数は十五万人にも上り、さらに結核患者はその十倍、二十倍といはれ、しかもその大部分が青少年であるといふまことに憂ふべき状態にあります。政府では國民體力

法を實施して、青少年の體力管理を行つてきたのですが、これまで結核の豫防、撲滅に對する施策が十分とはいかなかつたので、結核の蔓延、とくに重要産業その他の勤勞部面に働く人々への蔓延を十分に防止することができないうつた状態です。そこで政府はこの對策として、全國に一千數百の健民修練所を設け、さし當つて約四十二万人にも上る筋骨薄弱者と結核要患者の修練を行つて、弱體

者を一轉して強者に鍛へあげることになりました。こゝに昨年三月開寮されて以來この二月までに六百七十八名の卒業者を出し、徴兵検査の成績も九割二分以上が乙種以上に合格といふ好成績を示してゐる健民修練所、京都市立自強寮の修練ぶりを紹介してみませう。この寮で修練されるのは體力検査で、マン

全治してゐる者、健康體でも筋骨薄弱者として徴兵検査には不良と認められる者等を三ヶ月間入寮させて、みづちりし鍛へ上げようといふのです。 撮影 石東長一郎

午前五時起床、十分間の上半身摩癢に皮膚はめきく丈夫になつてゆく。 軍事訓練は陸軍禮式から始まつて内務課勤務、歩兵操典による教練から作戦要務令、衛生、救急法等と特に力を入れて教育される。



寮生中から召されて征く友に心からの饗けを——明日は我等もまたこの體力を得てと心に誓ひながら





# 九月の

# 常食

食糧戦に勝ち抜かう

既に各家庭へは主食として小麦粉や馬鈴薯や大豆等がお米とさしひきて配給され、全國民は朝に晩に、今後の食糧の事情が中々容易なものでないといふことを聞の底から感じ、身にしみて味はつてゐることと思ひます

だが、これを決戦下の食糧事情の真相だといふことができるのであつて、この真相が示す困難を何としても乗り越えなければなりません。そしてこれを切りぬける方法としては、食糧の國內自給と決戦食生活の實踐をおいてはな

いのです  
収穫も近づき、野良は決戦場のやうな農繁期に入り、食慾もまた大いに進む秋です。今月の常食でも、まづこの食糧戦に打ち勝つ大決意を固めませう

### 先づ増産戦に勝ち抜かう

すでに早稲米や早植米の穂は穂も出そろつて、たのもしみのりを見せてをりますが、収穫を間近にして細心の注意と十分の努力をもつて一粒でも多くの収穫をあげるやうに

ませう。さし當り今月は次ぎのことを必ず實行して下さい

一、水田の落水は早過ぎないやう

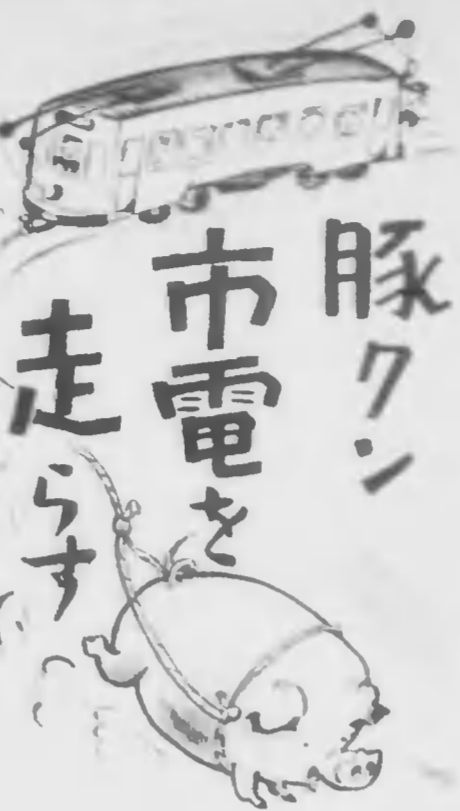
に  
稲の穂が出て花の咲く頃は、いゆる花水といつて十分に水を引くことが大切であることは誰も知つてゐますが、落水の時期については案外無關心の人が多いやうです  
穂が出揃つてから二週間位して穂先の黄色くなる頃まで灌漑を続ける方が増収となります。これまで落水の早過ぎた人は、今年ぜひ實行して下さい

二、秋らんかななどの害虫はできるだけ早く発見して、共同で徹底的に駆除を行ひませう

秋らんかなは田圃の中央に發生することが多く、とかく発見が遅れて、気がついたときは相當被害が進んでゐるといふことが多いので、常に注意して田圃を見廻つて下さい。発見したら、稲一株に十頭位發生した頃に、柄振りか節で油水を強く波立たせ、虫の體にぶつけて落す洗ひ落しの方法を共同で行ひませう

三、妻の作付面積の擴張をはかること

ご承知のやうに今年の妻は相當の減収でした。これはもとより天候等の關係もあつたのですが、すでに精麥、小麦粉が米とともに主食としてとりあげられてゐるのですから、この結果は米の不作と同じことになるのです。そこで主食の國內自給を絶対にやりとげなければならぬ來年度には、少しぐらゐの天候不利などではこたへない位に作付面積を擴張



## 横濱市

撮影 山村一平

委感者の豚が電車を走らせたいといふことは考へただけでも愉快ではありませんか。ところが、これは實際にあつた話です。もちろん、豚が電車を引張れはしませんが、市電を動かす働きをしました

横濱市鶴見區富士見町の翼賛壯年團支部では、各家でもてあました厨介を集め分け九頭の豚を飼ひ、三貫位の仔豚を見事十八、九貫の成豚にしました。この「厨介處理と養豚」に感心した横濱市役所では、仔豚の斡旋、厨介運搬用のリヤカー等に助成金を交付するなどして豚を飼ふことを奨め、また近藤神奈川縣知事は厨介利用の養豚に限つて特に豚肉の自家處理を許す英断を下しましたので、今では横濱市内の養豚數七百二頭に及んでこの秋には千二百頭になる見込です。一方、厨介をとつて歩かないですむので、厨介處理人夫八十名は市電乗務員に轉業し、市電を運轉してゐます。風が吹けば桶屋が儲かる話も顔まけの、しかも一石三鳥の名案だと横濱市壯年團では大張切りで養豚に一生懸命です



「早く豚ちゃんのご飯をもつていってやりませう。おなかへつたつてプウ／＼いってゐますよ」厨介の自家處理で年額五万圓の經營を浮くので、それを町内會の經費に交付しました

「半分肥つたぞ」早く食べた、なんといふのは大あれ

「豚一頭で美園川堆肥二袋分の肥料ができます。これで一體、一石何鳥になるでせうか、勘定して下さい」

大東亞戰爭漫日誌  
石川 介進



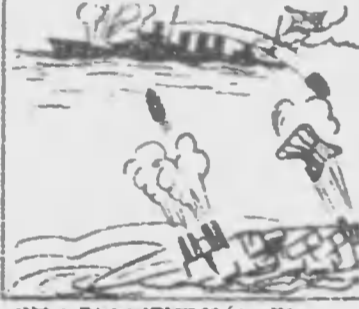
ドイツ軍の襲撃に備える兵士



機銃に集中する兵隊の陣中生活



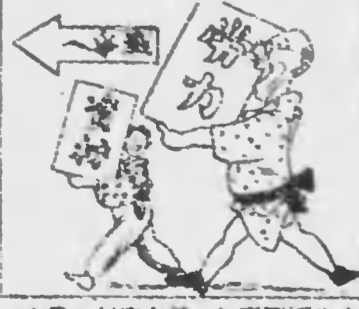
米穀と食糧の配給を指示する兵隊



前方を射撃する兵隊の陣中生活



旗を高く掲げる兵隊の陣中生活



陣中生活で物資の配給を指示する兵隊



陣中生活で物資の配給を指示する兵隊

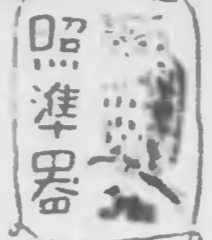


夏休みのみ報告書

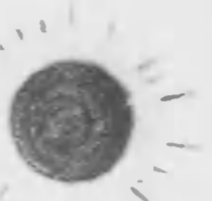
水兵達の保護

私たちの軍は村では不潔と見られるが、ある日、私たちは、男の子を保護して、水兵は大空へ行くやうに訓練してあげました。

小島 実郎



兵隊の訓練



太陽の光



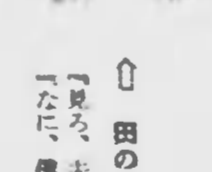
兵隊の訓練



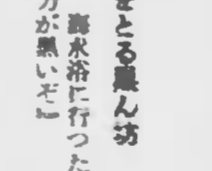
兵隊の訓練



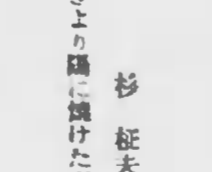
兵隊の訓練



兵隊の訓練



兵隊の訓練



兵隊の訓練



兵隊の訓練



兵隊の訓練



兵隊の訓練



張るやうに、今から準備を進めさせよう。不急不用の果實や野菜を作つておいた所で、害の耕作に適する土地は勿論のこと、畑田も排水溝や畦を作つて播種しなすことにしませう。稲刈は遅れず、甘藷は早目に掘り取つて、妻は必ず適期に播種して下さい。もし間に合はなかつたら、芽出播、簡易整地播、移植の方法をとつて下さい。種子は必ず消毒して斑葉病、黒穂病の害を予防させよう。

四、草刈運動も目標達成へ  
まだ残暑のほけしい季節、初秋の強い陽光をうけて、いたるところの山野には緑の草地が青々とくりひろげられておます。先月末から展開中の草刈運動の刈取目標を、今こそ達成する月です。腕におぼえの利鎌に物をいせ、是が非でも目標を突破して、飼料や肥料を確保しませう。

決戦食生活を實踐しよう  
お米だけを主食などと思つてゐる人はもうないことと思ひますが、いよ／＼今年の端境町に入り、馬鈴薯、大豆等の混入食はもつと／＼強化され、場合によつては三、四割まで入ることも覚悟しなければなりません。

だがこの決戦下、外米にたよつて作戦に、重要物資の輸送に絶対必要な船を、外米輸送に使はうなどと考へる人は一人もいないことと思ひます。すでに宮城県のある村等では、村常会の決議によつて還元配給米全額を喜び、被配給者七十餘名が端境町までは雑穀で頑張りどと、配給米を返上したといふ頼もしい例もあります。この意氣で、都會も農村も頑張り抜きましょう。米と共に主食の主位にすわる甘藷は十七億貫、馬鈴薯は七億八千万貫を目標に、増産に懸命の努力をつめてをり、幸ひに今のところでは馬鈴薯六億貫以上、甘藷十四億貫以上の収穫は確實の見込といはれる頼もしさですから、混食どころか、お米が主食となつても頑張り抜きましょう。



二百七十億貫に邁進しよう  
二百七十億貫を目ざして出發した今年度の貯蓄戦も、今月は早くも第二四半期（七、八、九月）を終ることにあります。幸ひに六月末の第一四半期の成績は総額七十九億四千万圓をこみあげ、目標の二割九分に及び、順調な成績を納めて貯蓄進軍の力強さをみせておます。だが、毎年の例によると、第四半期はいつもよい成績を収めてをりますが、この第二四半期の七、八、九月にはぐつと成績が落ちるのが例になつておます。そこでもう一層生活を引きしめて、第一四半期の好成績を保持するやうにさせよう。特に今月は郵便貯金の強調運動が行はれ、便利な定期貯金、積立貯金の増加に努めることになつておます。幸ひに東北地方の郵便貯蓄の成績をみますと、七月二十日現在で九千三百三十七万圓を示し、目標の三割五分といふ好成績を上げてをります。全国各地、各家庭とも、これにまけない成績を上げるつもりで貯蓄戦を戦ひ抜きましょう。

★表紙  
マ國の防衛を支援する防相オ・サン少将である。年齢はわづかに三十歳、世界における最年少の大佐である。だがわが明治維新が成つたとき三條實美公が三十四歳、參謀の大岡重信はわづかに三十二歳であつたことを思へば、新ビスマルクといつても不思議なことではない。

今やビスマルク防衛軍の育成強化に全力を傾注しつゝある少将は、日本を誇りたる軍人精神を自ら獲得すべく、毎早朝、東條総理から贈られた日本刀を振つて武術の鍛錬を欠かしたことがないといふ。

撮影 小山田敏郎

無事村診療所開業  
意外、この村には一人の病人なし、われら、この夜泊より診療所を開く、患者となることなし。

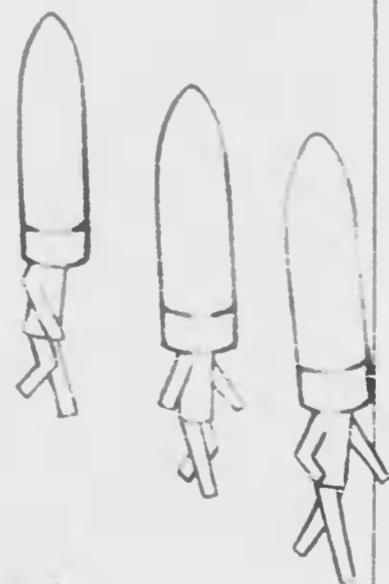
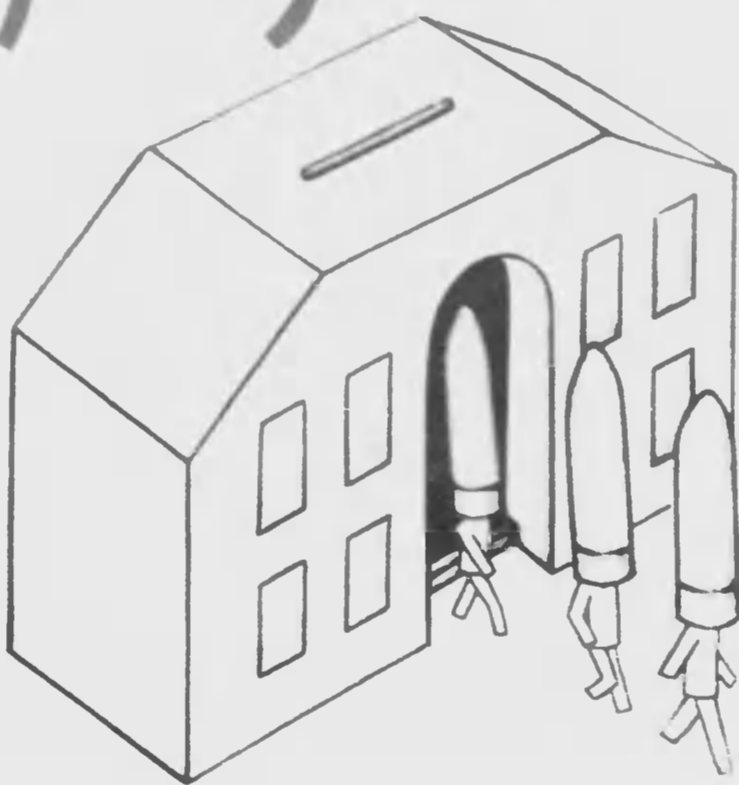
秋 玲二  
あなた、ホラ、あれはうちの第一子です、ママ、あなたで立派に立つてですね、どうせ切るなら、切符は第一に切つてもらはせよう。

少年飛行兵隊  
訓練の心算  
『ビスマルク艦隊は、ぼくたちの責任が、なんぼか！』

自汗で遊ぶ  
海軍の二番一圖が、丸と丸、なんのこねしき、ニューギニア、まつとまじりだ！

海軍の二番一圖が、丸と丸、なんのこねしき、ニューギニア、まつとまじりだ！

ウレシイナ  
ボクラノ  
チヨキンガ  
タマニナル



本店各店

# 東海銀行

<p>本誌を回覧に 本誌を、編者や編集 者へ送るなど、出 来るだけ有効に御利 用下さい。</p> <p>前線慰問にも またお読みになつた ら本誌を前線慰問に 送りませう。送料は 内地と同様で封封あ るひは封封にして第 一と明記して下さい。</p>	<p>所 達 申 定</p> <p>郵 料 十 銭</p> <p>▲ 外貨郵送に依 る場合は送料 別上九銭</p> <p>▲ 行人便の場合は 其の郵便掛込 金より原額を中 受けませう。</p>	<p>内閣印刷局</p> <p>昭和十八年八月五日発行</p> <p>印刷発行</p> <p>郵 局</p> <p>郵 局</p> <p>郵 局</p>	<p>寫眞週報</p> <p>第三〇九号</p>
	<p>全国各地官報 販 賣 所</p> <p>書店・驛賣店 新聞販賣店 寫眞材料店</p>		

内閣印刷局印刷發行

印刷紙金-A4規格紙はさきA4用紙